

## (ア) 防災基礎コースのオンデマンド化

### ○論点

#### 1. 視聴可能期間

- 従来の2週間を年2回から、どの程度拡張するか

#### 2. コースの単元構成の見直し

- オンデマンド講義視聴時間の最適化に向けて、単元構成をどのように見直すか

# 1. 防災基礎コース講義動画の視聴可能期間

## (これまでの議論) 防災基礎コースの完全オンデマンド化

- ・ R5年度から防災基礎を完全オンデマンド化し講義視聴期間を拡張
- ・ 演習を修了要件から外し、オンデマンド講義だけで修了を認定

## R5年度は以下のスケジュールで進めてはどうか

- ・ 4～8月でシステムを構築し、9月研修開始に向けて講義動画を撮影する
- ・ 8月と12月の2回（有明の丘研修と同時期）、受講者の募集を行う
- ・ R6年度以降も、講義動画の更新がある場合は9月までに行う

R5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
有明の丘					第一期 募集	第一期 演習		第一期 終了	第二期 募集	第二期 演習		第二期 終了	
システム 構築													
WG													
動画撮影													
受講者 募集													
視聴期間													

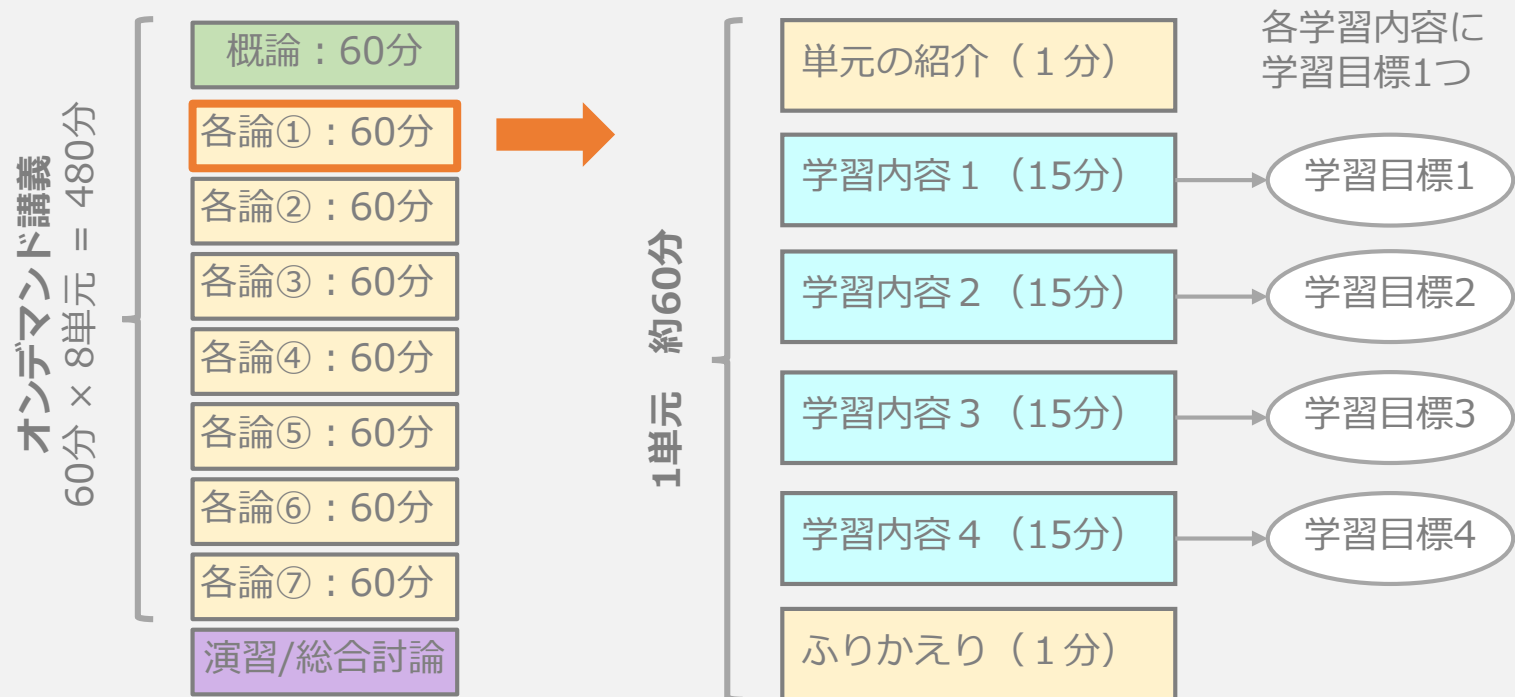
# 2. 防災基礎コースの単元構成の見直し

## 検討課題

防災基礎のオンデマンド化と講義時間の最適化に向けて、防災基礎コースの単元見直しを具体的に進める必要がある

(これまでの議論) コース・単元設定の全体ルール (令和4年度第3回検討会)

- コース修了に係る視聴所要時間は**480分以内を原則**とする
- 一単元の視聴所要時間は**60分以内を原則**とする
- 一単元は視聴時間**約15分以内**の動画を組み合わせ作成する
- 15分の動画ごとに**学習目標を1つ**設定する



# 2. 防災基礎コースの単元構成の見直し

平成26年度のコース設定の考え方を参考として、現在の防災基礎コースの単元構成を見直してはどうか

⑧計画立案	1.計画立案																																														
⑨広報	2.広報																																														
⑩総合	1.計画立案 2.広報 3.活動調整 4.実行管理																																														
②減災対策	③訓練企画	④警報・避難	⑤物資物流・広域行政	⑥避難収容・被災者支援	⑦復旧復興・被災者生活再建																																										
防災活動を行う上で不可欠な事項や情報 6.事故災害の予防 7.国民の防災活動の促進 9.事故災害における再発防止対策の実施 10.迅速かつ円滑な災害応急対策・災害復旧・復興への備え	防災活動を行う上で不可欠な事項や情報 7.国民の防災活動の促進 10.迅速かつ円滑な災害応急対策・災害復旧・復興への備え	防災活動を行う上で不可欠な事項や情報 11.災害発生直前の対策 13.災害の拡大・二次災害の防止及び応急復旧活動 16.避難収容及び情報提供活動	防災活動を行う上で不可欠な事項や情報 12.発災直後の情報の収集・連絡及び活動体制の確立 15.緊急輸送のための交通の確保・緊急輸送 17.物資の調達、供給活動 21.自発的支援の受け入れ	防災活動を行う上で不可欠な事項や情報 16.避難収容及び情報提供活動	防災活動を行う上で不可欠な事項や情報 22.地域の復旧・復興の基本方向の決定 23.迅速な原状復旧 24.計画的復興 25.被災者等の生活再建等の支援 26.被災中小企業の復興、その他経済復興の支援	Step 3																																									
<table border="1"> <tr> <td>防災活動の概要</td> <td>防災活動の概要</td> <td>防災活動の概要</td> <td>防災活動の概要</td> <td>防災活動の概要</td> <td>防災活動の概要</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>6. 7. 9. 10</td> <td>7. 10</td> <td>11. 13. 16</td> <td>12. 15. 17. 21</td> <td>16</td> <td>22. 23. 24. 25. 26</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="6">22の防災活動※全体に関する基礎的な知識</td> <td rowspan="2">概論</td> </tr> <tr> <td colspan="6"> <ul style="list-style-type: none"> <li>防災活動の流れ(応急、復旧復興、予防)</li> <li>我が国の災害の現状</li> <li>法的枠組みと対応の主体</li> <li>災害対応の原則</li> </ul> <small>※「防災スペシャリスト」が実施する28の防災活動のうち、「個別課題への対応」に關するNo.5~26の防災活動</small> </td> </tr> <tr> <td>①防災基礎</td> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>①・②</td> <td>③</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・法律</td> <td>・計画</td> <td>・ハザード</td> <td>・災害事例</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							防災活動の概要	防災活動の概要	防災活動の概要	防災活動の概要	防災活動の概要	防災活動の概要	7	6. 7. 9. 10	7. 10	11. 13. 16	12. 15. 17. 21	16	22. 23. 24. 25. 26		22の防災活動※全体に関する基礎的な知識						概論	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災活動の流れ(応急、復旧復興、予防)</li> <li>我が国の災害の現状</li> <li>法的枠組みと対応の主体</li> <li>災害対応の原則</li> </ul> <small>※「防災スペシャリスト」が実施する28の防災活動のうち、「個別課題への対応」に關するNo.5~26の防災活動</small>						①防災基礎	④	⑤	①・②	③			・法律	・計画	・ハザード	・災害事例			
防災活動の概要	防災活動の概要	防災活動の概要	防災活動の概要	防災活動の概要	防災活動の概要	7																																									
6. 7. 9. 10	7. 10	11. 13. 16	12. 15. 17. 21	16	22. 23. 24. 25. 26																																										
22の防災活動※全体に関する基礎的な知識						概論																																									
<ul style="list-style-type: none"> <li>防災活動の流れ(応急、復旧復興、予防)</li> <li>我が国の災害の現状</li> <li>法的枠組みと対応の主体</li> <li>災害対応の原則</li> </ul> <small>※「防災スペシャリスト」が実施する28の防災活動のうち、「個別課題への対応」に關するNo.5~26の防災活動</small>																																															
①防災基礎	④	⑤	①・②	③																																											
・法律	・計画	・ハザード	・災害事例																																												

図1 「26の防災活動」と「身につけるべき能力」を踏まえた研修コース設定 (H27年度更新版)

## 単元構成見直し (事務局案)

- 概論**
  - コースの全体像
  - 「前提となる知識」の要点
- 各論 1、2 ハザード**
  - 災害とハザード
  - 災害発生メカニズム
  - ハード対策、観測予測情報
- 各論 3 災害事例**
  - 災害による被害の実態
  - 地域の災害特性と災害事例
  - ハザードマップ
- 各論 4 法律**
  - 災害法体系
- 各論 5 計画**
  - 防災計画
- 各論 6, 7 防災活動の概要**
  - 警報避難の概要
  - 避難生活支援の概要
  - 物資・情報の流通の概要
  - など

## 現在の防災基礎

- 防災基礎総論
- ハザードのメカニズムと実態 (風水害/火山/地震)
- 地域の脆弱性と被害の実態
- 4-1 防災行政概要
  - 4-2 災害法体系
  - 4-3 防災計画
- 災害対応力を強化する女性の視点

## (H26年度) 防災基礎コースの設定

- 26の防災活動と身につけるべき能力によりコースを設定
- 前提となる知識を習得するコースとして**防災基礎**を設置 (平成26年度検討会報告書より)

## 【コース設定の考え方】

防災基礎では「前提となる知識」としてハザード、災害事例、法律、計画の枠組みと、**防災活動の基礎知識**を習得する

# 2. 防災基礎コースの単元構成の見直し

考え方に沿って次のように防災基礎コースの単元構成を設定してはどうか

## ■カリキュラム構成（事務局案）

	単元名	(分)	学習すべき内容
概論	1.概論	60	・コース位置付け、構成の意図、カリキュラムの紹介 ・「前提となる知識」の要点
各論	2.気象災害のハザード	60	・風水害のハザードとメカニズム、災害の実態
	3.気象情報と避難行動	45	・防災気象情報と警戒レベル ・避難行動判定フロー
	4.地域の脆弱性と被害の実態	45	・自然災害による人的被害 ・地域の災害特性 ・ハザードマップ
	5.災害法体系と防災計画①	60	・災害法体系、災害対策基本法、防災基本計画、地域防災計画、業務継続計画
	6.災害対策・防災活動①	60	・国の初動対応、政府の現地対策本部 ・国による応援の仕組み、自治体間の相互応援の仕組み、受援体制、民間連携 ・災害時の物資・情報の流通
	7.災害法体系と防災計画②	60	・災害救助法、激甚災害制度、被災者生活再建支援法
	8.災害対策・防災活動②	60	・避難所開設・運営、避難生活支援、男女共同参画の視点からの防災の取組 ・地区防災計画、避難生活支援リーダー人材育成、災害ボランティア ・要配慮者への支援、個別避難計画 ・住家被害認定・罹災証明書発行
	座学（概論+各論）トータル	450	（フルオンデマンド）
選択	8.地震・火山災害のハザード	60	・地震、津波、火山災害のハザードとメカニズム、災害の実態
	9.大規模地震対策	60	・南海トラフ地震対策特別措置法、首都直下地震対策特別措置法、日本海溝・千島海溝周辺地震防災対策特別措置法、各大規模地震の防災対策推進基本計画

【検討状況】 ・ コースコーディネーター牛山先生とのワーキンググループにて引き続き検討

# (イ) 職位別推奨メニューの実現に向けたコースの見直し

## ○論点

### 3. 概論の見直し

- ・ 概論をどのように標準化、講義時間を最適化するか

### 4. 各論の見直し

- ・ 各論を職位別推奨メニューにどのように割り振るか

### 5. 演習の見直し

- ・ 演習をどのように職位別実施するか

(これまでの議論) 4要素の役割 (令和4年度第3回検討会資料に追記)

座学オンデマンド

#### 概論

各コースの全体像と防災対応の要点を身に付ける

#### 各論

防災対応の活動遂行に必要な知識を身に付ける

演習リアルタイム

#### 演習

防災対応に関するアクティブラーニングの場  
・ 座学で得た知識の定着 ・ 課題発見能力の養成

#### 総合討論

防災対応に関するアクティブラーニングの場  
・ 質疑応答と振り返りによる学習内容の理解

# 3. 職位別推奨メニューの実現に向けた概論の見直し

## 概論の詳細の定義を以下のとおり設定してはどうか

(これまでの議論) (令和4年第2回検討会資料より)

- 概論はコースの全体像と防災対策の要点を学ぶ
- 概論は全職位(上級管理、一般管理、実務担当)を対象とする

## 詳細の定義(案)

- コースの全体像では、コースの位置づけ、コース構成の意図、研修カリキュラム、の3つを示すことを標準とする。(「平成28年度検討会報告書」より)
- 防災対策の要点では、各コースで扱う防災対策のオペレーションや災害対策組織運営のマネジメントについて、業務の必要性や法的根拠、過程の全体像(ライフサイクル)、果たすべき役割や機能、想定される課題、等を説明する。

災害対策の流れ

被災者支援コース構成の意図

- 避難所運営や被災者対応を担当する職員を対象に、被災者支援を実施するために必要となる知識を学ぶ。
- オンデマンド方式では、被災者支援の根拠となる法令や避難所運営のガイドラインについて理解し、避難所運営実施や被災者への医療・保健・福祉支援を始めとする被災者支援とその実際、生活再建支援の具体的な業務について学習する。
- リアルタイム方式では、災害時のトイレ問題の演習やセッティングにより理解を深める。

研修カリキュラム・講師紹介

研修番号	研修名称	研修内容	講師
1	被災者支援の基礎	被災者支援の意義と被災者支援の目的・意義	山田 淳子(自治体)
2	災害救助法と被災者生活再建支援法	被災者生活再建支援法と生活再建支援法の趣旨及び手続き、被災者生活再建支援法による被災者支援	高田 恵(自治体)
3	避難所のライフサイクル	避難所のライフサイクル	高田 恵(自治体)
4	避難所運営の実際	避難所運営の実際	高田 恵(自治体)
5	避難所運営の実際(避難所運営の実際)	避難所運営の実際	高田 恵(自治体)
6	医療による被災者支援	医療による被災者支援	高田 恵(自治体)
7	多様な生活による被災者支援/被災者生活再建支援法の被災者生活再建支援法	多様な生活による被災者支援/被災者生活再建支援法の被災者生活再建支援法	高田 恵(自治体)
8	生活再建支援業務	生活再建支援業務	高田 恵(自治体)
9	被災者生活再建支援法の被災者生活再建支援法	被災者生活再建支援法の被災者生活再建支援法	高田 恵(自治体)
10	被災者生活再建支援法の被災者生活再建支援法	被災者生活再建支援法の被災者生活再建支援法	高田 恵(自治体)

被災者支援業務の流れ

0. 避難行動を支援する
1. 孤立状態解消を支援する
2. 避難生活を支援する
  - ・在宅避難を支援する
    - ・施設避難を支援する
      - ・福祉施設、学校施設、旅館・ホテル
      - ・避難所
        - ・福祉避難所/スペース
    - ・収容避難所避難を支援する
  - 3. 帰宅困難に対応する
    - ・福祉避難所/スペース
  - 4. 広域避難に対応する
  - 5. 仮住まい生活を支援する
    - ・仮設住宅を支援する
    - ・自立仮住まいを支援する

被災者支援において果たすべき機能

実施される支援場所	果たすべき機能
在宅避難	1. 受け入れ/開始に対応する
施設避難	2. 衣食住に対応する
仮設住宅	3. 特殊事情に対応する
仮設住宅	4. 医療・保健・福祉活動に対応する
仮設住宅	5. 社会活動(職趣)に対応する
仮設住宅	6. 解消に対応する

以上の定義を踏まえて、各コースWGで概論の講義内容が適切か確認し、原則の60分以下となるよう必要に応じて修正してはどうか

# 4. 職位別推奨メニューの実現に向けた各論の見直し

各論の詳細の定義を以下のとおり設定してはどうか

## 詳細の定義（案）

各論は**研修指導要領（案）**に基づき、対象とする職位に応じて以下の内容を学習する。

**実務担当者**は、災害現場の業務遂行のために身につけるべき能力として、次のような視点を持ち、**現場でのオペレーション業務の知識**を身に付ける

- ✓ 対象業務の種類、範囲、実施手順
  - ✓ 業務に関するニーズや想定される課題
  - ✓ 法令や制度の適用等に関する知識
  - ✓ 過去の災害における被害の実態や活動の事例
- 等

**一般管理者**は、現場の指揮や調整、状況や課題等のために身につけるべき能力として、次のような視点を持ち、**災害対策本部の班長等のマネジメント業務の知識**を身に付ける

- ✓ 現場業務の知識に加えて、必要な資源（物資、人員、空間等）、当面の事態対応計画の作成、等の活動の指揮調整に必要な知識
  - ✓ ニーズや課題の経時変化、情報収集・分析、等の、活動の見通しを立てるために必要な知識
  - ✓ 隣接する活動との連携や資源調整、外部支援の調整や受援、等の連携調整に必要な知識
- 等

**上級管理者**は、組織全体の指揮者をサポートするために身につけるべき能力として、次のような視点を持ち、**市町村の危機管理監等のマネジメント業務の知識**を身に付ける

- ✓ 防災政策における全体像（応急活動、被災者支援、復旧・復興、平時の備え）を俯瞰できる知識
  - ✓ 組織マネジメント、資源把握・調整、状況認識の統一、等の、災害対策組織の運営に必要な知識
  - ✓ 指揮統制の標準的機能、目標管理型マネジメント、広報戦略、等の対策立案に必要な知識
  - ✓ 中長期を見据えた業務体制の仕組み（交代制）や、職員の健康・安全管理等に必要な知識
- 等

以上を踏まえて、各コースの各論がどの職位を対象とした内容かを確認し、**職位別推奨メニューの構成として**はどうか



# 4. 職位別推奨メニューの実現に向けた演習の見直し

防災基礎コースに限らず演習の受講者数の制限（60名）が受講枠の制約となっている

R5年度の演習実施方法を、以下のとおりとしてはどうか

## (1) 防災基礎コースの演習の廃止（選択制） 再掲

- 防災基礎は「前提となる知識」を学習するため、全受講者が対象
- ➔ **防災基礎コースを完全オンデマンド化**し、演習を修了要件から外すことで、受講可能枠を大幅に拡張する

## (2) 災害対策の各コースの演習回数

- 災害対策各コースの演習は、職位別（実務担当向け、一般管理向け）に**各期2回、年間4回実施**する
- ➔ 災害への備え、警報避難、応急活動・資源管理、被災者支援、復旧・復興

# (参考) 職位別推奨メニュー

職位に応じたコース、単元の構成 (令和4年度第1回検討会資料より)

## 災害対策

## 組織運営(総合監理を含む)

